

すっかり秋らしくなり、朝夕はめっきり冷え込んできておりますが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、研究会会員の大空が編集を担当させていただきます。文章を書くのが苦手なので、みなさまからいただいた原稿を貼りつけただけの簡易な会報になりますが、ご了承くださいね～。

これから先、こんなふうに、いろんな方に編集をやっていただけるといいなあと思っています。「原稿を貼るくらいの編集だったら、しますよ～」という方、事務局までご連絡をお待ちしております♪

- 目次
1. 前回例会報告
 2. 伝言板
 3. 次回例会案内(次回は11/24。東山いきいき市民活動センターで行います。めちゃくちゃ楽しそうですよ～。)
 4. 編集後記

1. 第7回例会報告

「京都音楽療法研究会」 第7回例会

今回は、北田さんと大空をネタに、参加者みなさんでしゃべる会でした。こんなのもありなのか、なしなのか、まだまだご意見お待ちしております。

○日時: 2013年8月11日(日) 13:30～16:30

○会計報告

参加費: 100円 × 14名 = 1400円

集金合計 1400円

経費: 場所代 400円

お菓子・お茶代 900円

経費合計 1300円

残金100円は、次回以降に繰り越させていただきます。

○場所: 東山いきいき市民活動センター 会議室

○参加人数: 14名

○内容: 音楽療法の多様性を考える(シリーズ!?) ～なかんとそらの相互作用～

○感想

《参加者の皆さんより》

～T・Hさん～

開始から二時間前後位から皆さんの心がほぐれてきたという印象でしょうか・・・

Tさんの「何歳まで音楽療法士を続けたい?」という全員への質問が場をほぐしたのでしょうか。さすがベテラン! これがかっかけて、北田さんと大空さんが音楽療法の世界に飛び込んでから現在に至る其々の道のお話につながったのですね。そのお話がとても興味深かったです。

それにしても、何故お二人の机だけが一段低かったのでしょうか? 遠慮かな? 普通一段高いところからお話するのにな(笑)

～M・Eさん～

みんなの前で、テーマを決めずにしゃべるっていうのも、見てる方はワクワク、本人はドキドキ、だろうなあ。と思いながら、私は見てる方なので、もちろんワクワクしながら月例会に参加しました。

きたさん、そらさん、二人ともいつも「話を聞いてくれる人」。その二人が二人して話をするひとになり、前に座っている図がなんだか面白かったです。

「テーマを決めずにしゃべる」つまりは雑談。だから参加者もいつもよりも気楽に聞いて、気楽に発言もできたように思います。「いいひと でなくなったきたさん」なんて表現は、もちろんうちわでの話意外には登場しないでしょうが、雑談というスタイルの気軽さから、あの人数の中でも出せたのだと思います。話は双方向になって、色んな人の考えがそこに入って広がっていくし、自分以外の人の見かた考え方が見えてきて、また新しい発見があったり。

と、こうやって文字にしてしまうとなんだか堅くなってしましますが、実際は会場で始終笑い声が響いていて、楽しい中、時間があつという間に過ぎて行きました。

いっぱいしゃべっているうちの8～9割はなんでもないことだけど、たまにすごいアイデアが出たり、一人だと行き詰っていたことに思いがけない打開策が見えたり。一人一人が色んな考えを持っていてもすべてよしとしてしまえる。

あ、これって、大事なのはやっぱりコミュニケーションよねえ、ということなのかもしれません(^_^)。

《北田さんより》

そらさんとの雑談から決まった今回の「雑談」企画でしたが、私自身の感想としては、「まんまとひっかかった」という感じです(笑)。そらさんに色々聞いてしゃべってもらおうと思っていたのに、それを読まれて逆に聞かれてしまいました…。人のことならば「その人の来し方を聴くことは、自分の来し方や価値観を考える機会になるからいい!」と思い、それを参加者の方にも言えるのですが、自分のことになるとどうも…。

しかし、「北田が変化した」という話題で、話をふられたMさんが「いい人じゃなくなった感じ」と言われたのが、かなりツボでした。私自身は、「我が儘に生きている感じの人」は結構好きなのですが、それは、その人が楽に居ることで、自分も楽になるからかなあとと思います。それを目指しているというわけでもないのですが、そんな感じになりつつあるのでしょうか。そんな感じで、私が色々と得をさせてもらったような例会でした。

そうそう、終わってから、「二人の話、もっと聞きたかった」と言われたのですが、うれしい反面、何を聞きたいと思われたのかがさっぱりわかりません…。そう思ってくれた方、ぜひ教えてください!

こういう例会、案外、色んな組み合わせでするのもおもしろいかなあと思いました(と、つい企画者目線ですが)。

参加していただいたみなさん、どうもありがとうございました。

《大空より》

私、最近、人生に迷ってまして(笑) 例会にもその迷いが出ていたような気がしています(汗)でも、おかげさまで、何か妙にふっきれまして、その後、心やすらかに過ごしております。参加者のみなさま、本当にありがとうございました。「音楽療法の多様性を考える」というテーマをあげつつ、そんな話したっけなあ? と、今、無責任なことを考えております…。

テーマを考えた時には、「音楽療法、いろいろあっていいやん」って、すごく言いたい気分だったんですが、例会後は「そんなん、わざわざ言わなくても、もうすでにいろいろあるやん」って気分です。その人らしさ とか、個性 とか、ほっといたらにじみでてくるわな と。大事ななのは、その「ほっとく」ことなんやろなと思う今日この頃。

そして、それを実感するような、ほっといたら面白くなったぞという出来事もあり♪ 北田さんと一緒に、私だけ得させてもらったみたいで、すみません～。参加者のみなさま、本当にありがとうございました。

2.伝言板

《事例研究ゼミのお知らせ》

音楽療法を実践しているの経過や困っていることなどを、事例の発表者とその場に参加する人で意見を出し合い、“共に”音楽療法に向き合う時間を共有するゼミです。

随時、発表者・参加者ともに募集しております。ぜひ、あなたのお話をお聞かせください。

■コーディネーター／水上恵美先生(京都音楽院講師、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

■日程／日曜日10:30～12:30 [11月17日・平成26年1月19日・3月16日]

■会場／京都音楽院

■参加費：(1回)2,200円(税込)

■申込み／京都音楽院まで。電話、Eメールにて。

TEL:075-211-4556

E-mail:ongakuin@jeugia.co.jp

3.次回例会

○日時：2013年11月24日(日) 13:30～16:30頃 ※受付13:10～

○話題提供者：友寄広さん

○内容：“音楽に触れることによる『心の変化』を感じる実験”

《友寄広さんより》

京都音楽療法研究会に入会したときに頂いた会員カードを取り出してみると、入会日が2004年6月7日と書かれています。それからの例会出席率は何と9割を軽く超えていると思います。何故？どうして？素人の私がこんなにも続けてこれたのでしょうか？多分、ゆるい私に合うゆるい会だったからでしょうか(笑)

さて、次回の例会では、3年ほど前に続き2回目の発表役を仰せつかりました。50歳半ばを過ぎ、世間で言われている第2の人生が近づいてきました(涙)実は、今までお世話になった音楽療法士の皆さんと楽しくコラボしながら、多くの人々に生きがいの再発見をして頂く仕事を創造できないのかと模索中の今日この頃なのです。

今回は、“音楽に触れることによる『健常者の心の変化』の実験”と題して皆さんを実験の被験者とさせていただきます(笑)講演あり即興演奏あり、ディスカッションありミニライブありetcとお楽しみ？盛りだくさんを予定しています。

もしかして、例会が終了したとき皆さんの心の中に少しでも温かな灯が点灯するかも…？

【当日に持参して頂く物】

- ① 日々の仕事や生活で取り組んでいる中で壁を感じていることがあり、当日に参加することで解決の切っ掛けにしてみたいテーマがあれば…
- ② ノートやメモ帳、筆記用具
- ③ お気に入りを持ち運び簡単なお手軽楽器
(例…カスタネット、タンバリン、カリンバ、ガラガラ、むかし手作りした楽器など等なんでも)

○申込：11/20(水)までにメール(研究会宛。下記参照。) orハガキ(畑陽子様宛)にて。

○参加費：場所代(800円)・資料コピー代を、参加者で割ります(大体の金額で)。小銭を用意していただけると助かります。

○場所：東山いきいき市民活動センター 2階 会議室

★東山いきいき市民活動センター★

〒605-0018

京都市東山区花見小路通古門前上る巽町450番地

(花見小路通古門前上る東入る南側。保育所と公園の向かい側)

■最寄駅・バス停■

各駅、停留所より徒歩5～7分です。

【京都市営地下鉄東西線】三条京阪・東山

【京阪本線】三条

【京都市バス】5,12,46,100,201,202,203,206系統 … 東山三条

5,10,11,12,59系統 … 三条京阪前

○注意事項：大変申し訳ありませんが、当日、いきいき市民活動センターのエアコンが使えず、暖房がありません(代わりの暖房器具が入るかどうかが、現在検討中だそうです)。間近になって、あまりにも寒いようでしたら、会場の変更を]考えています。その場合、参加連絡いただいた方にのみ、お知らせいたしますので、ご了承ください。

また、場所変更なく行う場合は、くれぐれも、あったかい格好でお越しくださいませ。特に、スリッパなので、足元を重点的にあったかくしてきてくださいね。

4.編集後記

旧研究会ができてから約15年。北田さんはずっと、こうやって編集してくれてたのね～と思いながらの編集作業でした。北田さん、どうもありがとう。

友寄さんの文章にもありましたが、私もこの研究会のゆる～い感じが好きです。いろんな人が、できることをして、なるべく負担がかからない形で、ゆる～く、なが～く続いていくといいなあ。たぶん、そうなるでしょう♪ みなさま、どうぞよろしく願いいたします。

あっ、会員のみなさんにお知らせしたいこと、お願いしたいこと、募集したいこと等あれば、いつでも事務局までご一報くださいね。みんなに役立つ会報にしていきたいと思います。



↑↑おまけ♪

研究会を終え、プチ打ち上げのカフェでほっと一息の北田さんと大空さん。
おつかれさまでした！

発行:京都音楽療法研究会

事務局 北田朋子

編集 大空倫子・山本知香

連絡先: Eメールアドレス kyotomt.k@gmail.com

ホームページ: <http://kyoto-mt-kenqkai-1998.jimdo.com/>

※携帯の方も見られます(おそらくブログのみなのですが…)